

15:29 それから、イエスはそこを去って、ガリラヤ湖の岸を行き、山に登って、そこにすわっておられた。

15:30 すると、大ぜいの人の群れが、足なえ、不具者、盲人、おしの人、そのほかたくさんの人をみもとに連れて來た。そして、彼らをイエスの足もとに置いたので、イエスは彼らをおいやしになった。

15:31 それで、群衆は、おしがものを言い、不具者が直り、足なえが歩き、盲人が見えるようになったのを見て、驚いた。そして、彼らはイスラエルの神をあがめた。

15:32 イエスは弟子たちを呼び寄せて言られた。「かわいそうに、この群衆はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物を持っていないのです。彼らを空腹のままで帰らせたくないありません。途中で動けなくなるといけないから。」

15:33 そこで弟子たちは言った。「このへんぴな所で、こんなに大ぜいの人に、十分食べさせるほどたくさんのパンが、どこから手にはいるでしょう。」

15:34 すると、イエスは彼らに言われた。「どれぐらいパンがありますか。」彼らは言った。「七つです。それに、小さい魚が少しあります。」

15:35 すると、イエスは群衆に、地面にすわるように命じられた。

15:36 それから、七つのパンと魚とを取り、感謝をささげてからそれを裂き、弟子たちに与えられた。そして、弟子たちは群衆に配った。

15:37 人々はみな、食べて満腹した。そして、

パン切れの余りを取り集めると、七つのかごにいっぱいあった。

15:38 食べた者は、女と子どもを除いて、男四千人であった。

15:39 それから、イエスは群衆を解散させて舟に乗り、マガダ地方に行かれた。

以前のパンの奇蹟は12という数字が強調されており、イスラエルの部族の数を表していました。ここでは7であって、それは完全数を表します。

つまりイエス様が与えてくださるパンは、イスラエルにも十分であり、また全人類にとっても完全であるということです。ここでパンは命の糧であり、イエス様ご自身とまたイエス様が与えてくださる命とを表したものです。

このようにイエス様のみわざには意味があります。私たち自身に起こる出来事には意味がありますし、ましてや祈って与えられた結果には大切な意味と御心がありますから、それをしっかり悟って、正しい道に歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

